

説明会での主な質問と回答

小平都市計画道路3・3・3号新五日市街道線 事業概要及び測量説明会

令和元年6月26日（火）午後7時～午後8時40分 中央公民館（ホール）

Q1 総工費用はいくらか。費用の内訳を知りたい。

A1 概算事業費は概ね40億円を見込んでおります。このうち東京都の負担が9割程度で、残りの1割程度が市の負担になると考えております。

Q2 府中街道から山王通りまでの小平3・3・3号線が開通すると、見込まれる交通量はどのくらいになると予想しているか。

A2 本事業は、地域のまちづくりの一環として行うため、交通量は限られたものになると考えております。周辺の道路状況が似ている、平成29年3月に開通した武蔵野美術大学前の小平3・3・3号線は、現状で2,000台弱の交通量ですので、本事業においても同程度の交通量になるのではないかと考えております。

Q3 鎌倉公園の整備スケジュールはどのような見通しか。

A3 鎌倉公園の整備は、小平3・3・3号線の完成時期と同時期の開園を目標としておりますが、これまで行ってきた基礎調査やアンケート調査の結果を踏まえて、今年度は鎌倉公園整備基本計画の策定を予定しておりますので、具体的な見通し等については、その中で示させていただく予定です。

Q4 「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において、小平3・3・3号線の西東京市境から花小金井南町2丁目までの区間、小金井街道から新小金井街道までの区間が優先整備路線として位置づけられた。優先整備路線の交通量の基準は1日6,000台だったと思うが、1日6,000台の交通量になるような東側から当該区間までの整備は、30年以内に完了するのか。

A4 今回整備する府中街道から山王通りまでの小平3・3・3号線は、幹線道路としての整備とは違い、鎌倉公園へのアクセス、新小平駅周辺のまちづくりの促進といった、地域のまちづくりを主体として考えた整備であり、東京都の優先整備路線とは異なった考え方で進めていきます。30年以内に東京都の整備が当該区間まで進んでくるかどうかは、市では骨格幹線道路の整備を行わないため、お答えができません。

Q5 小平市議会、都市基盤整備調査特別委員会、小平都市計画審議会や小平市都市計画マスタープラン見直し委員会の中で、本路線についての議論がされたのであれば、その会議の日時を知りたい。

A5 市議会でも度々案件としては取り上げられており、平成28年9月議会では、新小平駅周辺のまちづくりを求める声として、鎌倉公園の整備や道路整備について、一般質問に取り上げられております。

Q6 第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業は、事業化計画における優先整備路線以外の路線に地元から強い要望があった場合に進める事業という説明だったが、小平市から東京都に対し、どのような内容の要望をしたのか。

A6 平成28年度の初めに、東京都から市町村に、新みちづくり・まちづくりパートナー事業の後続事業（第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業）に関する事前の意向調査がありました。市では、先行して進められていた鎌倉公園の整備に向けた基礎調査において、周辺の都市計画道路の整備も必要と整理するとともに、道路にかかる地権者の方のご意見もいただき、賛成の声が多かったため、新規路線として東京都に強く要望をした経緯がございます。

Q7 平成30年3月に小平市が実施した鎌倉公園等に関するアンケートでは、事業に肯定的な意見よりも否定的な意見が多かった。否定的な意見が多い中で事業を進めているが、どのような内容を東京都に要望したのか説明してもらいたい。

A7 鎌倉公園等に関するアンケートの中で、様々な声があったのは承知しておりますが、地域のまちづくりということで、皆さまの意見を聞きながら、取り入れられるところは取り入れて、丁寧に事業を進めていきたいと考えております。

Q8 騒音や大気汚染等の健康被害がどの程度生じるか予想されていない状態で、なぜ小平市が先立てて小平3・3・3号線の一部を作るのか。道路延長が2km以上で4車線なら環境影響評価を行わなければならないが、道路延長を2km未満にして環境影響評価を行わないような状況を作るため、道路を分割して整備するのか。

A8 本事業は、東京都が進めている広域的な道路ネットワークの形成ではなく、新小平駅周辺地域のまちづくりの一環として、鎌倉公園の整備と周辺の道路整備を進めていくものです。

環境影響評価について、今回の整備は暫定形での整備ですが、将来的には中央分離帯を取り、片側2車線の道路にするものと思われまます。その時は改築になると思いまますので、環境影響評価をやらなくていいという話にはならないと思いまます。

Q9 鎌倉公園と小平3・3・3号線を同時進行で整備するということか。鎌倉公園は令和8年には整備されるということで事業が進められているのか。

A9 鎌倉公園整備のスケジュールとしては、小平3・3・3号線の整備と連携して進めていきたいと考えており、令和8年度末の道路の完成時期と同時期の開園を目標として考えております。

Q10 測量は、小平3・3・3号線の整備に関わる対象者だけではなく、鎌倉公園の整備に関わる対象者に向けても同じように実施していくという理解で良いか。

A10 別の事業になるため、鎌倉公園の区域内的の測量については、別途、説明会を行ってから実施する予定です。

Q11 鎌倉公園の完成は概ね何年ぐらいを予定しているか。鎌倉公園へのアプローチで小平3・3・3号線を整備するということは、先に鎌倉公園を整備するという理解で良いか。

A11 同時期の開園が目標ですが、鎌倉公園の整備は時間を要することが想定されます。その場合、小平3・3・3号線の整備時期である令和8年度末においては、公園の一部を先に整備して開園することも考えたいと思っております。

Q12 都市計画事業の認可を得て進めていく必要があるという説明があったが、鎌倉公園の計画は、まだ認可を得ていないということか。

A12 現時点では、まだ事業認可を受けておりません。

Q13 小平3・3・3号線と鎌倉公園の整備はどちらが先になるのか教えてほしい。

A13 鎌倉公園の整備に伴って小平3・3・3号線の整備をします。市のまちづくりとしては、両方を並行して進めていきたいと考えておりますが、道路の整備スピードと公園の整備スピードを全く同じにすることは、なかなか難しい状況です。場合によっては、道路の整備が先になる可能性があります。

Q14 鎌倉公園に関するアンケート調査をされたという話があったが、事業を進める旨が記載されたアンケートではなく、公園を作る際にどのような公園が良いかという内容のチラシが入っていた。アンケートとはこれのことなのか。

A14 そのとおりです。

＜補足説明＞鎌倉公園等に関するアンケートは、平成29年11月から12月にかけて、鎌倉公園周辺にお住まいの約1,600件の方を対象に、アンケート調査票と返信用封筒を入れたものを配布させていただいております。

Q15 区画整理を行う予定はあるのか。

A15 現時点では、区画整理のお話というのはありませんが、将来的には、土地所有者様が区画整理をしたいという意向があれば、市にご相談のうえ、組合を設立していただくという流れは可能と考えております。ただ、皆さまが持っている土地で、今までどおり農業をやっていきたいという意向のある方もおりますでしょうし、そのような中で、市が容易に区画整理をやりますとは言えない状況です。ご相談があれば、市の担当部署を紹介します。

Q16 小平3・3・3号線と鎌倉公園を同時に整備するという話だが、自分たちが住んでいる場所はどうなるのか。鎌倉公園の方が一部先行して開園という事であれば、いつ位の時期に移転しなければならないのか。

A16 部分開園の範囲や、今後の用地取得などの具体的なスケジュールにつきましては、今年度に策定予定である鎌倉公園の整備基本計画の中で検討していきたいと考えております。基本計画の策定については、ワークショップ等を開いて、皆さまのご意見もいただきながら進めていきたいと考えております。

Q17 小平3・3・3号線のほうはほとんどが畑だが、鎌倉公園のほうは民家があるということを考えているか。

A17 鎌倉公園の区域内の状況は把握しております。現在、区域内にお住まいの方にはご心配をおかけしてしまい申し訳ございませんが、具体的なスケジュールについては、今年度に策定予定である鎌倉公園の整備基本計画の中で検討していきたいと考えております。

Q18 本当に鎌倉公園のために小平3・3・3号線が必要なのか。

A18 鎌倉公園の南側にある、たかの街道は狭いため、公園を造るためには小平3・3・3号線の整備が必要と考えています。

<補足説明>たかの街道は歩道部分が広くないため、公園へのアクセスとしては不十分であると捉えております。

公園担当部署としては、小平3・3・3号線を整備することにより、幅の広い歩道が設置され、鎌倉公園に来園される方にとって、安全で快適な交通空間が確保されるものと考えております。

Q19 鎌倉公園へアクセスする人は、歩行者や自転車利用者ではなく、自動車利用者を前提としているのか。公園が整備されてから道路を整備するという事で十分ではないか。鎌倉公園の区域内に家を建てたが、公園を整備する計画があるのであれば、なぜ建築の許可をしたのか。

A19 今回の小平3・3・3号線の440m区間の整備を行うにあたって、平成28年度から鎌倉公園の整備に向けた検討が始まり、公園へのアクセス道路が必要ということで、平成29年度から始まった第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用して、小平市が道路を造りたいという要望を東京都に出したという経過がございます。

小平3・3・3号線の整備効果としては、鎌倉公園のアクセス道路のほか、新小平駅周辺のみちづくりの促進や、地域内道路ネットワークの形成、あとは災害時の一時避難所になっている小平第十五小学校へのアクセスの利便性や安全性の向上などがございます。

また、都市計画決定がされている鎌倉公園の区域内での建築についてですが、建物の階数や構造の制限等がありますが、建ててはいけないというものではありませんので、その制限の範囲内であれば、新しい建物が建てられることとなっております。

また、今回は幅の広い歩道を設置いたしまして、自転車と歩行者の空間を、構造的に植樹帯で分離して、歩行者等の安全性も確保するような道路づくりを目指しておりますので、自動車のためだけではなく、徒歩や自転車で公園に来園する方のためにも配慮した道路を造っていきたいと考えています。

Q20 鎌倉公園 2.9ヘクタールの公園用地の範囲が確定していないのではないかと。住んでいる人が移転する場合、何年位までに移転すれば良いのか。住居移転の代替地について、金額以外の折衝は可能なのか。公園整備に関する説明会は今後実施されるのか

A20 公園用地の範囲は 2.9ヘクタールですが、部分開園の範囲は現在のところ決まっておりません。

代替地についてですが、補償は原則、金銭による補償となるため、ご自分で探していただく形になります。

住居移転の時期ですが、今後、鎌倉公園の事業認可を取った後に、用地説明会を行う予定です。その後、皆さまの家の物件調査を行いますから、その物件調査をする前に、一方的に出てくださいというような話になりません。移転時期は物件調査後、個別のご相談で決定していきます。

今後、鎌倉公園の事業説明会を行っていく中で、事業認可取得や用地説明会等のスケジュールを示していきたいと思っております。

Q21 来年度に鎌倉公園の説明会を実施するという事か。

A21 早ければ来年度に鎌倉公園の事業説明会を行いたいと考えております。

Q22 部分開園というのは、全ての用地が買収できなかった場合に部分開園を行うという事でよいか。

A22 一度に全ての用地取得が終わらない可能性があるため、段階的に整備を行っていくことも考えたいと思っております。区域の中には生産緑地が多くありますので、そこを中心に取得していくことを想定しております。

Q23 農家の方からの要望が多かったという話だが、道路で分断されている方々は容認されているのか。どのくらいの方が賛成されているか、内訳を知りたい。

A23 農家の方や、住宅にお住まいの方など、小平3・3・3号線にかかる地権者の方に、都市計画公園ではなく、道路整備についてお話をしております、道路整備については概ね賛同を得ていると捉えております。

都市計画公園の話と道路整備の話と一緒にしますと、道路整備本来の話と違ったお話になってしまうので、私どもの都市計画道路担当部署としては、道路整備に係る方に、直接お話を伺いました。ただ、鎌倉公園の整備については、また違った思いを持っているということも聞いております。

なお、現在、地権者の方は約20件と捉えておりますが、今日の説明会の後に用地の測量業務を行いますので、その中で地権者は何名ということが判明します。

Q24 新小平周辺でのまちづくりのためとのことだが、組合等の準備が進んでいるのか。

A24 現時点では、そういったお話は伺っておりません。小平市は組合施行による市街地再開発事業を支援していますが、市施行のケースは現在のところ想定しておりません。また、組合施行というお話も、現在のところ伺っておりません。市街地再開発事業でなくても土地区画整理事業等の事業も組合施行で出来ますが、これについても現在のところは伺っていない状況でございます。